

# SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール  
岩手県立水沢高等学校  
第16号 2019年12月23日 発行

## 小学校出前授業

「理科を学習する楽しさ」を小学生に体験してもらうことを目的に、水高生が小学校で出前理科実験を行う事業です。高校生と小学生がふれあい、お互いを刺激し合うことは、共に多くのことを学び合える大切な場だと考えます。

令和元年度は奥州市内の8つの小学校で10回の授業を実施し、2年普通科生徒37名・理数科生徒31名の計68名が参加しました。

### 水沢小学校 科学クラブ（30名） 鉄粉で作るカイロ・花火



カイロは温度がどんどん上がっておもしろかったし、線香花火はふつうの花火みたいにできたので楽しかったです。また実験をしたいです。（小4）

### 羽田小学校 5年生（18名） クリップモーターを作ろう



わかりやすく教えてくださったのですぐにできました、すぐに回ってうれしかったです。理科をすきになりました。（小5）

先生の立場で授業してみて、伝えることの難しさや準備の大切さ、どうすれば子ども達が授業を楽しめるかの工夫の仕方などを学びました。（理数科）

### 若柳小学校 4年生（15名） 洗濯ノリで作る不思議な物体



お湯とせんたくのりとホウ砂でスライムができるのをはじめて知りました。とてもおもしろい！！し、今日の授業で理科もおもしろいんだなと思いました。（小4）

### 若柳小学校 3年生（23名） 紙のブーメランを飛ばしてみよう



高校生のおしえかたがよかったのでブーメランがけっこうとびました。ピークも一回できたのでよかったです。今日はとても楽しかったです。（小3）

### 江刺愛宕小 5年生（46名） 紙のブーメランを飛ばしてみよう



自分だけでなく、みんなも楽しんでいたのでよかったです。ブーメランの説明がすごくわかりやすかったです。本当にありがとうございました。（小5）



人首小学校 3・4年生(6名)  
洗濯ノリで作る不思議な物体



高校生の人たちのせつめいがとてもよくわかったからたのしかったし、じっけんもおもしろかった。また、じっけんしてみたいです。こんどはもっとながく勉強したいです。(小3)

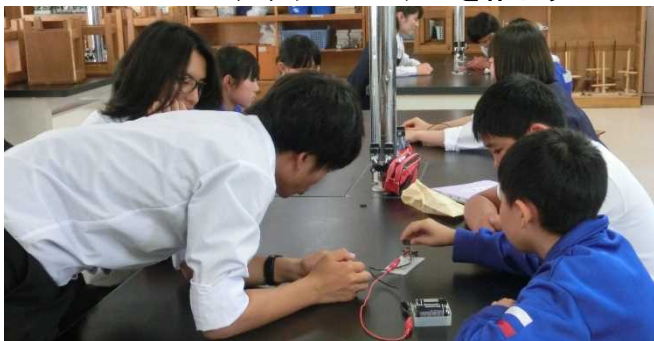
今回出前授業に参加してみて、一つの授業をするにも多くの準備があり、どうやったら生徒に分かりやすく伝わるかなど、考えることがたくさんあって大変でした。その分、成功したときや、児童が面白かったと言ってくれたときがとても嬉しかったです。(普通科理系)

前沢小学校 6年生(118名)  
身近な指示薬紫キャベツ



紫キャベツの色を変化させる実験がおもしろかったので、もっとやりたいとおもいました。説明も分かりやすく、色を変化させる物質もよく分かりました。(小6)

胆沢第一小学校 科学クラブ(11名)  
クリップモーターを作ろう



この授ぎょうでやった実験をいつかまたやりたいと思いました。夏休みや冬休みの工作にいかしたいと思います。(小4)

胆沢第一小学校 4年生(53人)  
人間だって電池になるぞ



今回の実験に参加して、塩ビパイプをこするとせい電気がおこるということを知り、やりたいと思いました。人間だって電池になるというじじゅつがすごいと思いました。科学はすごいなあと思いました。(小4)

黒石小学校 3・4年生(16人)  
クリップモーターを作ろう



また、こうこうせいとりかであそんでみたいとおもいました。あしたもあそびたい。クリップモーターを家でざいりょうをあつめてつくりたいとおもいました。もっとじっけんをしたいとおもいました。(小3)

出前授業をして、小学校の先生は様々なことを考えなければならぬと実感した。小学生は皆素直で、反応してくれるとやはりうれしかった。本番の授業で成功するためには、準備を万全にすること、教養をつけることが大切だ。今回参加してみて、やはり小学校教員になりたいと明確に思った。(普通科文系)